

# Hitachi Koki

# 日立タツカ

## N 5008AF

## N 5008AF (S) [フリーアングルプラグ付]

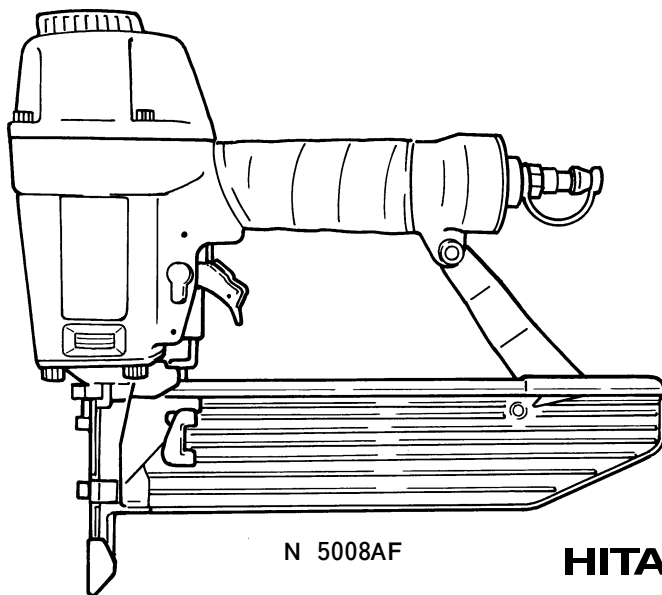
## N 5008AM

## 取扱説明書

このたびは日立タツカをお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



N 5008AF




**HITACHI**


# 目 次


ページ


タツカの安全上のご注意	2
各部の名称	8
仕 様	8
ステーブルの選び方	9
標準付属品	9
別売部品	9
用 途	10
作業前の準備	10
ご使用前に	11
使 い 方	13
保守・点検	18
エアコンプレッサと作業の速さ	21
別売部品の使い方	21
使用潤滑油	22
ご修理のときは	22
全国営業拠点	裏表紙

## 警告, 注意, 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」, 「 注意」, 「 注」に区分しており, それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに, 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに, 使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお, 「 注意」に記載した事項でも, 状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので, 必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け, 操作, メンテナンスに関する重要なご注意。

# タツカの安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警 告

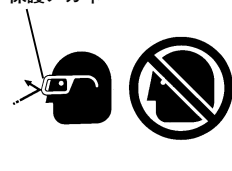
### 作業前

- ① 保護メガネを使用してください。
  - 作業中は、保護メガネを使用してください。
  - まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。  
ステーブルを連結している接着剤や打ち損じのステーブルが目にあたると、けがの原因になります。
- ② エアコンプレッサ以外の動力源は使用しないでください。

本機は、エアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使用すると、爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 機体の排気音や排気空気から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。
- ④ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。
- ⑤ きちんとした服装で作業してください。
- ⑥ エアホースを接続する前に、次の点検をしてください。
  - ネジ類の締め付けがゆるんでいないこと。
  - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
  - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
  - プッシュレバーがスムーズに動くこと。異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

①

保護メガネ

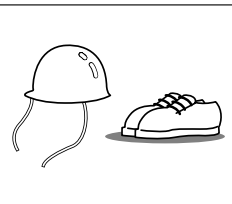


②

エアコンプレッサ



④



⑥

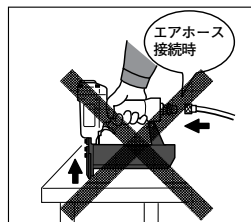


## 警告

### ⑦ エアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 引金に手を触れない。
- プッシュレバーの先に触れたり、押し上げた状態にしない。
- 射出口を人体に向けない。  
誤ってステープルが発射した場合、けがの原因になります。

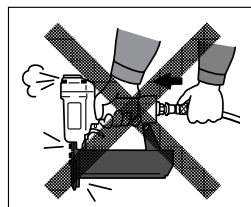
⑦



### ⑧ ステープルを装てんする前に、エアホースを接続し、次の点検をしてください。

- エアホースを接続しただけで、機体内部のピストンなどの作動音がしないこと。
- 空気漏れや異常音がしないこと。  
異常のあるまま使用すると、事故やけがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⑧



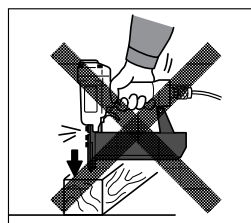
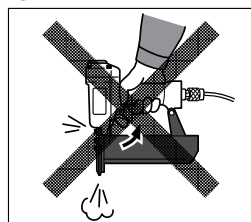
### ⑨ 使用前に安全装置の確認をしてください。

本機は、プッシュレバーと引金の両方を作動させないと、ステープルが発射されない構造になっています。

ステープルを装てんする前に、エアホースを接続し、ステープルフィーダを後方に引いて次の確認をしてください。

- 引金を引いただけで、機体内部のピストンなどの作動音がしないこと。
- プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、ピストンなどの作動音がしないこと。  
異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⑨



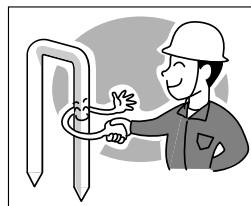
### ⑩ 用途にあった作業に使用してください。

- 本機は、木材または類似の材料へのステープル打ち作業を目的とした工具です。
- 指定された用途以外には使用しないでください。

### ⑪ 指定のステープルを使用してください。

指定されたステープル以外のものを使用すると、けがや本機の故障の原因になるので使用しないでください。

⑪



**警告**

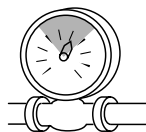
- ⑫ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、タッカ本体やエアホースに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ⑬ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- ⑭ 作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

**作業中**

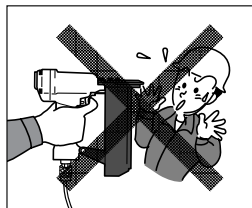
- ① 指定の空気圧力で使用してください。
- 本機の使用空気圧力範囲は  $0.44 \sim 0.78 \text{ MPa}$   $\{4.5 \sim 8 \text{ kgf/cm}^2\}$  です。この範囲内で使用してください。  
 $0.78 \text{ MPa}$   $\{8 \text{ kgf/cm}^2\}$  を超えた空気圧力で使用すると、機体の破裂や損傷の恐れがあり、けがの原因になります。
- ② 人体に射出口を向けないでください。
- 人体に射出口を向けて、誤って発射した場合、思いがけないけがにつながります。
- ③ 射出口付近に人体や手、足などを近づけて作業しないでください。
- 誤ってステーブルが発射したり、はね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ④ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で、本機やエアコンプレッサを使用しないでください。  
ステーブルを打ち込むときの火花による引火や、空気といっしょに吸引圧縮され、爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

①

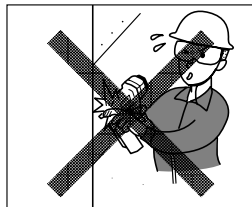
$0.44 \sim 0.78 \text{ MPa}$   
 $\{4.5 \sim 8 \text{ kgf/cm}^2\}$



②



③



④

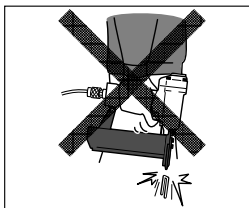


## ⚠ 警 告

### ⑤ ステープルを打ち込むとき以外は、引金に指をかけないでください。

- 引金に指をかけて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。
- ステープルを装てんするときや調整などをするときには、引金に指をかけないでください。  
誤ってステープルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。

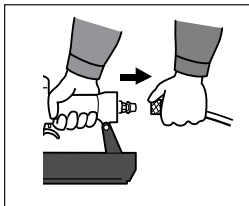
⑤



### ⑥ 次の場合は、エアホースをはずし、圧縮空気を抜いてください。

- 使用しない場合や作業中断時、使用後。
- 点検・修理・調整、ステープル詰まりの直しなどの場合。
- ステープルを装てんする場合。
- タッカを移動する際や手渡しする場合。  
誤ってステープルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。

⑥



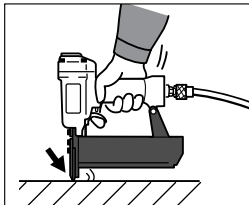
### ⑦ 引金に指をかけた状態でエアホースをはずさないでください。

引金に指をかけた状態でエアホースをはずすと、次にエアホースをつないだとき、誤ってステープルが発射する恐れがあり、けがの原因になります。

### ⑧ ステープルを打つときは、射出口を確実に対象物に当ててください。

- 一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。  
ステープルがはね返ったり、本機が反発することもあり、けがの原因になります。

⑧



### ⑨ 作業中はまわりの人に注意してください。

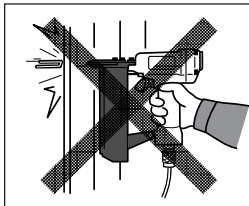
ステープルを連結している接着剤や打ち損じたステープルが当たる恐れがあり、けがの原因になります。

- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。  
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。

### ⑩ 薄い板や木材の端にステープルを打たないでください。

薄い板に打つとステープルが突き抜けたり、木材の角に打つとステープルがそれたりして、けがの原因になります。

⑩



**警告**

- ⑪ 機体の反発に注意してください。
- 硬い所に打った場合、本機がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

- ⑫ 壁の両側から同時にステープル打ち作業をしないでください。

打ったステープルが突き抜けたり、壁ぎわのステープルがそれたりして、けがの原因になります。

- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

転倒して、けがの原因になります。

- 高所作業のときは、ステープル打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。

けがの原因になります。

- ⑭ 屋外での作業は、次のことに注意してください。

- 高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに固定してください。

不意にエアホースを引っ掛けたりした場合、けがの原因になります。

- 屋根などの斜面でステープルを打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。

後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。

- 床などの水平面でステープルを打つときは、前進しながら作業してください。

後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。

- 壁などの垂直面にステープルを打つときは、上から下へ作業してください。

- ⑮ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- タッカを使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、まわりの状況など、十分注意して慎重に作業してください。

- 常識を働かせてください。

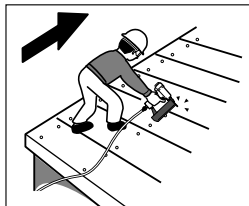
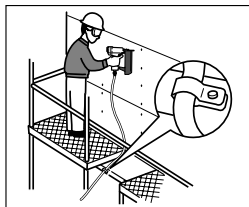
- 疲れているときは、使用しないでください。

- ⑯ エアホースをつかんで本機を移動しないでください。

⑫



⑭



⚠ 警 告

- ⑰ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

内部の圧縮空気で破裂の恐れがあり、けがの原因になります。

- ⑱ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑱



作業後

- ① 作業後は、エアホースをはずしてから、ステープルを全部抜き取ってください。

ステープルを残しておくと、次に使用するときなど、誤って作動した場合に、けがの原因になります。

- ② 本機やエアコンプレッサ、エアセットは直射日光に長時間当てたまま放置しないでください。

- ③ タッカは、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、タッカは常に手入れをし、清潔に保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

- ④ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

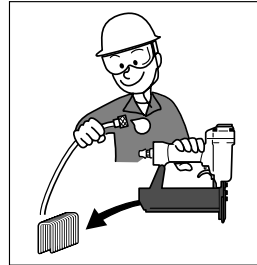
- ⑤ 部品をはずしたり、改造をしないでください。安全性が損なわれ、けがの原因になります。

- ⑥ タッカの修理は、専門店で依頼してください。

- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

①





# 各部の名称

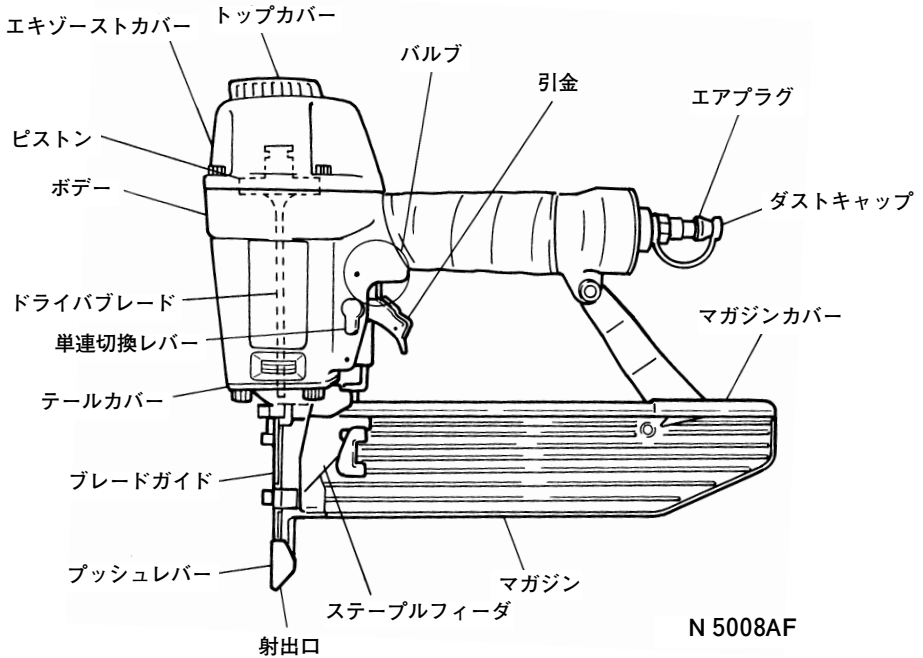


図 1

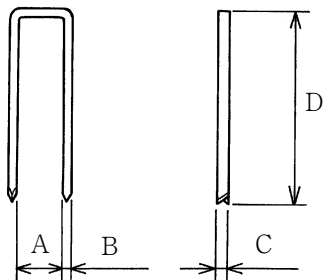
# 仕 様

項目	形名	N5008AF	N5008AF(S)	N5008AM
動力形式		ピストン往復動式		
使用空気圧力		0.44 ~ 0.78 MPa { 4.5 ~ 8 kgf/cm <sup>2</sup> }		
能力 (使用ステープル)		B0832F2, B0838F2, B0845F2, B0850F2		
ステープルの装てん数		120本(2連+20本)		60本(1連+10本)
製品の大きさ (長さ×高さ×幅)		323mm×280mm×86mm	345mm×280mm×86mm	291mm×280mm×86mm
製品質量		1.8 kg		
ステープル送り方式		うず巻ばね式		
使用エアホース(内径)		6 mm以上		

# ステープルの選び方

本機は、下の表に示すステープルが使用できます。

ステープルは50本が1連に接着されています。寸法はおおよその値を示しております。ステープルは本タッカお買い上げの販売店でお求めください。



(寸法単位：mm)

ステープル	A	B	C	D
B0832F2	8.3	1.4	1.65	32
B0838F2				38
B0845F2				45
B0850F2				50

## 標準付属品

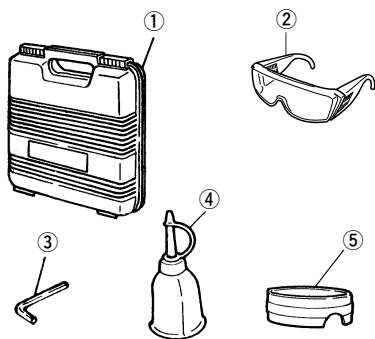


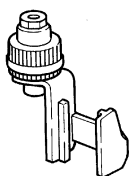
図 2

- ① ケース ..... 1 個
- ② 保護メガネ ..... 1 個
- ③ 六角棒スパナ 5 mm ..... 1 個  
(本体に取付けてあります。)
- ④ 油さし ..... 1 個  
(釘打機・タッカ用オイル入り)
- ⑤ プロテクタ ..... 1 個  
(17 ページの 5 項参照)

## 別売部品

本タッカお買い上げの販売店でお求めください。

### 1. プッシュレバー(C)組 (平打ち用)



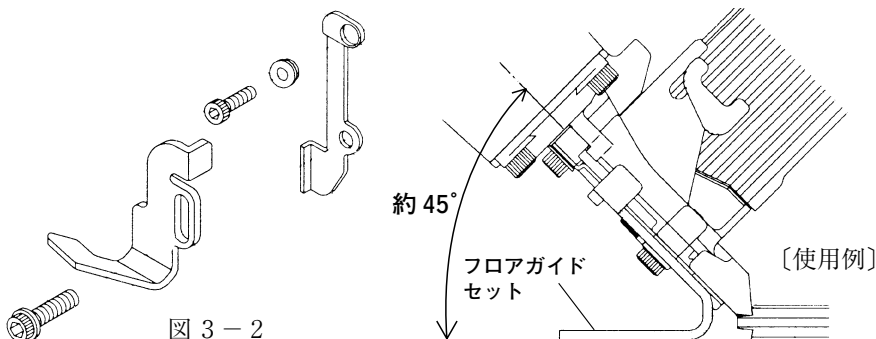
取付け方は、21 ページの「別売部品の使い方」をご参照ください。

図 3-1

## 2. フロアガイドセット

(本体に取付けて、約45°の角度でのステープル打ち込み作業用。)

取付け方は、部品に付いている説明書をご参照ください。



## 用 途

○フローリング施工

**注** • 堅い材料(単層むく材)に打ち込むと、材料により入らない場合や割れる場合がありますので、試し打ちして確認の上、ご使用ください。

## 作業前の準備

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

作業前に次の準備をすませてください。

### 1. エアホースの準備……………

本機の使用エアホース内径は6mm以上です。エアホースをエアコンプレッサ側にしっかり接続してください。

**注** • エアホースの長さは、30m以内のものをお使いください。エアホースが長いと圧力降下をして十分な打ち込み力が得られません。

### 2. エアコンプレッサ内のドレンを除去する……………


水や油が内部にたまりますと、さびが発生したり故障の原因になります。ご使用前には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きをゆるめて、内部にたまった水や油を除去してください。乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。(詳細はエアコンプレッサの取扱説明書をご参照ください。)

### 3. ステープルの準備……………

ステープル打ち作業の用途にあったステープルを準備してください。


(9ページ参照)

### 4. 安全点検……………


 警 告
<ul style="list-style-type: none"><li>• 子供など作業員以外は近づけないでください。</li><li>• ネジ類の締め付けがゆるんでいないことを、十分に点検してください。</li><li>• 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。</li></ul>

18ページの「保守・点検」を参照し、必ず行なってください。

## ご使用前に

 警 告
<ul style="list-style-type: none"><li>• 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。</li></ul>

### 1. 空気圧力の確認……………

 警 告
<ul style="list-style-type: none"><li>• 本機の使用空気圧力の範囲は0.44～0.78 MPa {4.5～8 kgf/cm<sup>2</sup>}です。この範囲内で使用してください。</li></ul>

空気圧力は、ステープル打ち込み能力（ステープルの長さ、木材の堅さなど）に合わせて、0.44～0.78 MPa {4.5～8 kgf/cm<sup>2</sup>} の範囲で調整してお使いください。

空気圧力が0.44 MPa {4.5 kgf/cm<sup>2</sup>} 未満または0.78 MPa {8 kgf/cm<sup>2</sup>} を超えますと本機の性能、寿命、安全に影響しますので、エアコンプレッサの空気圧力、容量、配管に十分考慮が必要です。

### 2. 給油について……………

本機のピストン摺動部は特殊材料の採用により、使用前後に毎日給油する必要はありません。しかし、圧縮空気中のごみが摺動部にたまると動作が鈍くなります。油をさすと、たまったごみが除去されるとともに本機の寿命向上、性能維持に効果がありますので月に1～2回程度の給油をお勧めします。給油は2mL {2cc} 程度の油をエアホース取付口から入れてください。

油は付属の油をご使用ください。その他、使用できる油を22ページに示しましたので、これらの油をお使いください。なお、混用は避けてください。

### 3. エアホースを接続する……………

#### ⚠ 警 告

本機にエアホースを接続するときは、次のことに注意してください。

- 引金に手を触れない。
- プッシュレバーの先を台や床などにのせて、押し上げた状態にしない。
- 射出口を人体に向けない。

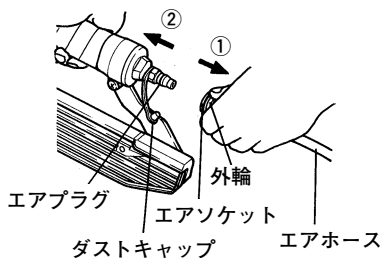


図 4

本機にエアホースを接続する場合はエアプラグからダストキャップをはずし、図4のように、①エアソケットの外輪を引き、②エアソケットをエアプラグにしっかりとさし込んでエアホースを接続します。

(手を離すと外輪は戻ります。)

### 4. ステープルを入れる……………

#### ⚠ 警 告

- ステープルを装てんする場合は、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

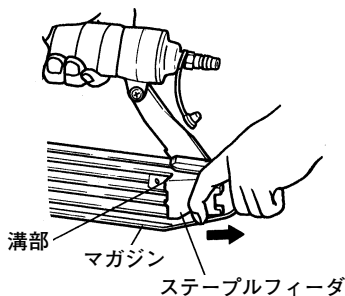


図 5

- ステープルフィーダを後方に引いて、マガジンの溝部に確実に引っ掛けます。(図5)

## N5008AFの場合

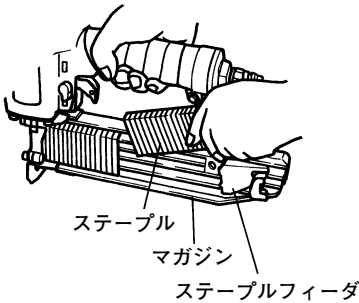


図 6

- ステープルをマガジンの上方から1連ずつ入れ、手で前方へ送ります。(図6)  
N5008AFは、2連+20本(120本)入ります。  
N5008AMは、1連+10本(60本)入ります。
- ステープルフィーダを後方に引いて、マガジンの溝部からはずし、ステープルを押すように静かに戻します。

**注** ・ステープルフィーダは急に離すと、急激に戻り、ステープルが変形したり、ばらばらになったりして、ステープルづまりの原因になります。ステープルフィーダは必ず静かに戻してください。

## 使 い 方

### ⚠ 警 告

- ・作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- ・作業中は、まわりの人の安全確保にも十分注意をはらってください。
- ・人体に射出口を向けないでください。
- ・射出口付近に人体や手、足などを近づけて作業しないでください。
- ・一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。

**注** ・低温時に使用すると、機体の動作が悪くなる場合があります。

### 1. ステープルの打ち方………

本機は、打ち込み対象物によって、効果的な使い方ができるように単連切換え機構を装備しています。

本機はフローリング(床張り)作業用の製品です。狙い打ちを確実にするため、単発打ちに切り替えての使用をお勧めします。

#### (1) 単発打ち

単連切換レバーを上向きの単発位置にセットしてください。(図7)

### ⚠ 注 意

- ・単発打ちでも、引金は素早く、確実に引いてください。引金を素早く、確実に引かないと、打ち込み時の反動で連続打ちすることがあります。

単発打ちは、仕上げを重視する場合や狙った場所にステープルを打つ場合に使用します。打ち込む所にプッシュレバーを押し当て、引金を引く動作で、ステープルを一本ずつ打つことができます。(図8)

**注** ・狙った所にステープルを打つ場合は、単発打ちで作業してください。

フローリング作業はフロア材の浮上がりを防止するため、本体の打ち込み角度は約45°にし、プッシュレバーの先端凸部をフロア材のさね(凹部)に確実に当てて打ち込むようにしてください。(図8)



図 7

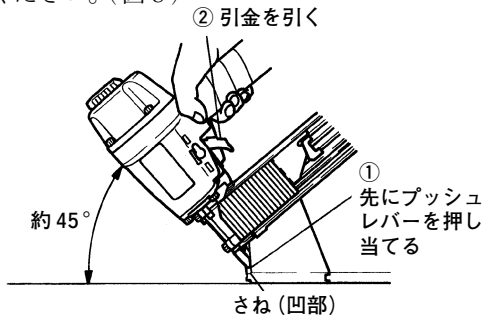


図 8

## (2) 連続打ち

単連切換レバーを下向きの連続位置にセットしてください。(図9)

連続打ちは、はじめに引金を引いておき、その後、ステープルを打つ所に射出口を「トン・トン・トン」と押し当てれば、連続的に作業ができます。

(図10)

プッシュレバーを別売部品のプッシュレバー(C)組に交換すると、平打ちする場合に便利です。

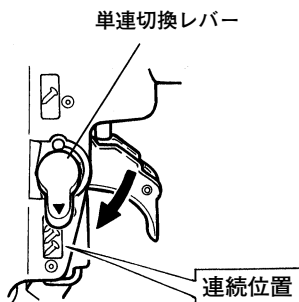


図 9

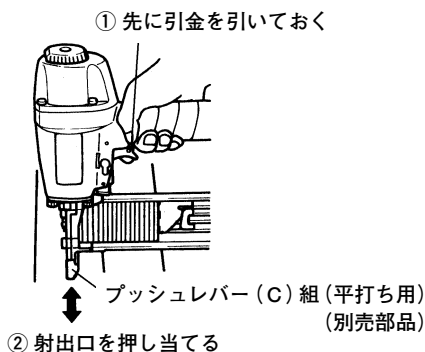


図 10

## ○安全装置について

本機は、プッシュレバーと引金が同時に作動しないと、ステープルが発射されない構造になっています。したがって、引金を引いただけのとき、または、プッシュレバーを打込み対象物に押し当てただけで、ステープルは発射しません。これは、ステープルを打つとき以外に誤って引金を引いたり、プッシュレバーを押し当てただけで、ステープルが発射されることを防ぐためです。

### (3) 作業中断時、使用後のご注意

#### ⚠ 警 告

- 使用しない場合や作業中断時、使用後はエアホースをはずしてください。
- 作業後は、エアホースをはずしてから、ステープルを全部抜き取ってください。

**注** • 作業後は、エアコンプレッサの空気を抜いて、空気圧力を0にしてください。ドレン抜きをゆるめると、タンク内のドレンが除去されると同時に、圧縮空気が抜けて空気圧力が0になります。

## 2. 打ち込み深さの調整……………

#### ⚠ 警 告

- アジャスタの調整をするときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。
- 射出口を下に向け、人体や手・足などがいないことを確認してください。

### (1) アジャスタの調整 (図 11)

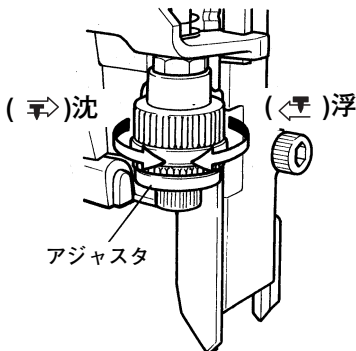


図 11

○ 本機は、アジャスタをつまんで回すことにより、打ち込み深さを調整できます。試し打ちし、ステープルが沈みすぎるときはアジャスタを浮く方(マーク<←浮>)に回します。ステープルの頭が浮くときはアジャスタを沈む方(マーク<→沈>)に回します。

(図 11, 12)

アジャスタは1回カチッと回るごとに0.5mm移動します。



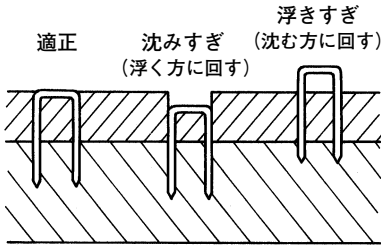


図 12

## (2) 空気圧力、アジャスタ調整の目安

**注** ・ 打ち込み深さの調整は、使用空気圧力によっても調整できますので、アジャスタの調整と併用してください。  
 ステープルの打ち込み抵抗に合わない高い圧力で使用すると、本機の寿命を早めます。

- まず下表を目安にアジャスタ、使用空気圧力をセットします。
- 試し打ちして、ステープルが沈みすぎる場合は、アジャスタを浮く方に調整します。
- ステープルの頭が浮く場合は、空気圧力を高い方に調整します。

### 使用空気圧力、アジャスタ位置の目安

使用ステープル	使用空気圧力	アジャスタの位置
B0832F2	0.44 MPa {4.5 kgf/cm <sup>2</sup> }	最も沈む方向に回して セットする。
B0838F2		
B0845F2	0.54 MPa {5.5 kgf/cm <sup>2</sup> }	
B0850F2	0.59 MPa {6 kgf/cm <sup>2</sup> }	

## 3. 空打ち防止機構について……………

本機はステープルがなくなったあとの空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えております。ステープルがなくなると、プッシュレバーが上がらず、引金を引いても打てなくなります。

- 注** ・ ステープルフィーダを後方に引くと、空打ち防止機構が無効になります。不要な空打ちは各部に悪影響を与えるので避けてください。
- ・ プッシュレバーを押し当てたままの打ち込み作業では、空打ち防止機構は無効になるので注意してください。

#### 4. 排気方向の変え方……………

### 警告

- 排気方向の調整をするときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

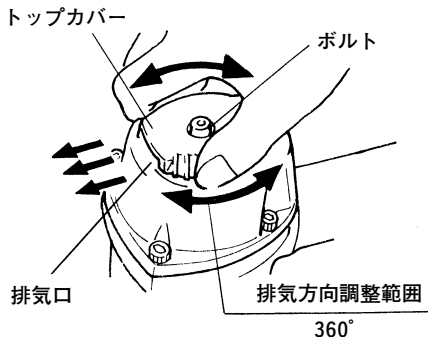


図 13

トップカバーを回して排気口の向きを360°の範囲で変えることができます。(図13)

- 注**
- トップカバーが変形などで動きが悪くなった場合は、ボルトを六角棒スパナ(4mm)でゆるめ、回してください。排気口の向きを変えた後、ゆるめたボルトはしっかり締め付けてください。

#### 5. プロテクタの用途……………

### 警告

- プロテクタを着脱するときは、必ず引金から指をはなし、エアホースをはずしてください。

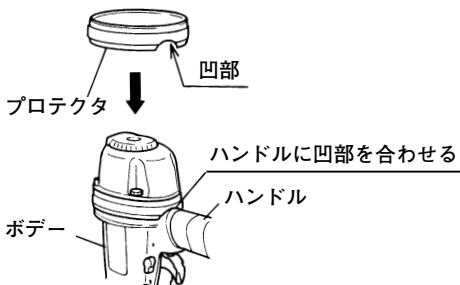


図 14

本機には、ボデーを横にしておいた時などに、ボデーの塗装面や相手材を保護するゴム製のプロテクタを付属しています。

プロテクタはボデーのハンドルに凹部を合わせ、図14のように取り付けます。

## 6. ステープルの取扱い方……………

- 注** ・ステープルの梱包箱，ステープル単体いずれの場合も扱いをていねいに行なってください。落としますと，連結部が切れます。また，そのままの状態で使用するとステープル送り不良により，空打ち，ステープルづまりなどが発生するため，使用しないでください。
- ・ステープルは長時間外気や直射日光にさらさないでください。さびの発生や，連結部に不具合が生じる場合があるので，使用しないときはステープル梱包箱などに入れてください。

## 保守・点検

### 警告

- ・ステープルづまりを直すときや点検・手入れの際は，必ずエアホースをはずし，ステープルを全部抜き取ってください。

### 1. ステープルづまりの直し方……………

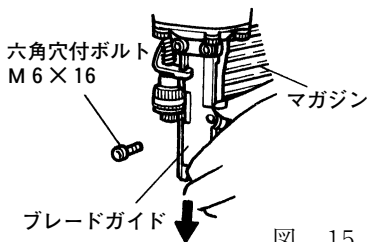


図 15

- 六角棒スパナ 5 mm (本体に取付けてあります) を使用して六角穴付ボルト M6×16 をはずし，ブレードガイドを下方へ引っ張ってはずします。(図 15)

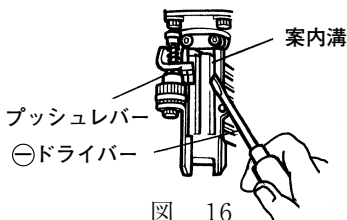


図 16

- 案内溝につまったステープル，破片，接着剤，木くずなどを⊖ドライバーなどで取り除きます。(図 16)

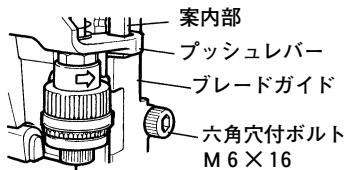


図 17

- 組立てのとき，プッシュレバーがブレードガイドの案内内部に入るように行ないます。(図 17)
- 組立て後，プッシュレバーがスムーズに上下動することを確認してください。

- 注** ・ドライブレードの先端が摩耗すると，ステープルづまりが発生しやすくなります。ステープルづまりが多発するようでしたら修理に出してください。

## 2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないか、定期的に点検してください。  
ゆるんでいるところがある場合は、締めなおしてください。  
ゆるんだままお使いになると、けがなど事故の原因になります。

## 3. ごみ・ほこりの防止……………

- ごみやほこりが内部に入らないよう、エアホース接続の際には、口元のごみをふき取ってください。
- 使用しないときはエアプラグにダストキャップをつけ、本体内にごみが入るのを防いでください。

## 4. プッシュレバーの点検……………

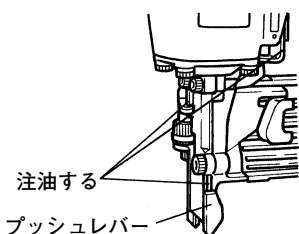


図 18

プッシュレバーがスムーズに摺動するか確認してください。(図 18)

プッシュレバーの摺動部は掃除し、ときどき付属の油を注油してください。油を注ぐことにより動作がスムーズになると同時にさび止めにもなります。

## 5. マガジンの点検……………

- マガジンをときどき掃除してください。  
中にたまったごみ、木くずなどを取り除いてください。

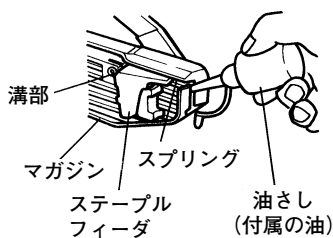
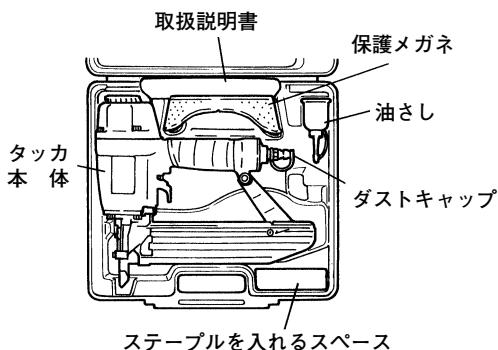


図 19

- ステープルフィーダのスプリング部は、ときどき注油してください。  
ステープルフィーダを後方に引いて、マガジンの溝部にステープルフィーダを引っ掛けた状態で、後方からスプリング部に注油してください。(図 19)

## 6. 作業後の保管は……

**注** • エアプラグにダストキャップをさし込むときは、本機をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。



○ 作業後は内部にごみやほこりが入らないよう、ダストキャップをエアプラグにさし込み、ケースに入れて保管してください。ケースには図20のように入れてください。

図 20

- 長時間使用しない場合は、さび防止のため、エアホース取付口から給油し、ステープルフィーダを後方に引いて2, 3回空打ちして油を内部に行き渡らせてください。  
また、鉄の部分やバルブの部分には油をうすく塗布してください。  
油は、付属の油をご使用ください。その他、使用できる油を22ページに示しましたので、これらの油をお使いください。なお、混用は避けてください。また、油の中にゴミがあると給気穴をふさいだり摺動部をいためる原因となりますので、清浄な油をご使用ください。
- 気温が下がると、ゴム製部品の収縮で空気が漏れ、朝の始動が悪くなる場合がありますので暖かい場所においてください。
- お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

# エアコンプレッサと作業の速さ

エアコンプレッサは、使用する場合の作業の速さ（毎分合計打ち込み本数）と使用空気圧力（MPa）の関係により、下表を目安に最適な機種を選定してください。

作業の速さ（毎分合計打ち込み本数）

使用空気圧力 エアコンプレッサおよび出力	0.44～0.49 MPa {4.5～5 kgf/cm <sup>2</sup> }	0.49～0.59 MPa {5～6 kgf/cm <sup>2</sup> }	0.59～0.69 MPa {6～7 kgf/cm <sup>2</sup> }	0.69～0.78 MPa {7～8 kgf/cm <sup>2</sup> }
0.4 kW	85～70本	70～50本	50～40本	40～30本
EC 6 SA1 0.6 kW	130～110本	110～80本	80～65本	65～50本
0.75 kW	160～135本	135～100本	100～75本	75～60本
0.9 kW	180～155本	155～110本	110～85本	85～70本
1.1 kW	220～185本	185～140本	140～110本	110～90本

たとえば、0.59 MPa {6 kgf/cm<sup>2</sup>} の圧力で1分間に60本の速さで打ち込む場合（1秒間に1本）は、上の表からEC 6 SA1または0.6 kWのエアコンプレッサが必要となることがわかります。

## 別売部品の使い方

### ⚠ 警告

- 別売部品を取付けるときは、必ずエアホースをはずし、ステーブルを全部抜き取ってください。

### プッシュレバー（C）組の使い方……………

プッシュレバー（C）組（図3-1）は、先端が平らになっているため、平打ちする場合に交換すると便利です。（図21）

プッシュレバーの交換は、アジャスタを浮く方（マーク ←↑）の方に回し続けて、プッシュレバーをはずします。

プッシュレバー（C）組の取付けは、取りはずしたときと逆の手順で、アジャスタを沈む方（マーク →↓）の方に回していき、取付けます。

取付け後、プッシュレバー（C）組がスムーズに摺動するか確認してください。

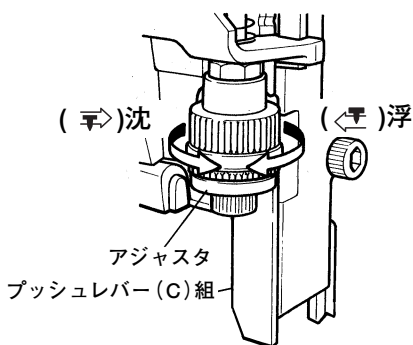


図 21

## 使用潤滑油

釘打機・タッカに使用する潤滑油は、日立釘打機・タッカ用オイルをおすすめします。この油も含め使用可能な潤滑油は下表のとおりです。

油の種類		銘柄および品名
日立釘打機・タッカ用オイル		————— [別途販売しております]
その他の オイル 〔市販品〕	ベビコン油	日立ベビコン用オイル
	エンジンオイル	エンジンオイル各銘柄 SAE 10W, SAE 20W
	タービン油	タービン油各銘柄 ISO VG32~68 (# 90~# 180)

**注** ・潤滑油は必ず上表の油を使用してください。不適正な油を使用すると動作不良の原因になります。

## ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

### ●全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル)	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター  0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

